



ESGへの取り組み

証券コード：6908

2018年8月2日

イリソ電子工業株式会社



イリソの 経営理念

—未来に続く架け橋として—
人の心を尊重し 豊かな価値を創り 社会貢献に努める

イリソの ビジョン

顧客価値を創造する100年企業

イリソの 事業戦略

■事業拡大

長期目標:売上高1,000億円に向けた施策の実行

- ①伸びる市場(車載市場)の攻略
- ②第二の柱(産業機器向け)の確立
- ③生産力とコスト力の強化

■ESGへの積極的な取り組み

- ① ESGリスクへの対応
- ② ES課題対応領域での事業機会の創出

イリソの経営理念

—未来に続く架け橋として—
人の心を尊重し 豊かな価値を創り 社会貢献に努める

Environment(環境)

- ・環境マネジメント
→ISO14001取得とREACH規制、RoHS指令の遵守による工場の運営から製品に至るまで大気・水質・土壌リスクマネジメント、化学物質リスクマネジメントの実施
- ・ゴミ分別活動の推進
→横浜市から3R活動の「優良事業所」として9年間認定されています

Society(社会)

- ・社会貢献
→理工系大学生及びスポーツに励む大学生に対する奨学金給付活動を行う財団への支援
- ・ダイバーシティー向上
→女性役員、女性管理職の登用
- ・ワークライフバランス
→生産性30%向上活動による残業時間削減、時差出勤制度の導入
- ・安全衛生
→「安全は全てに優先する」をスローガンに重点的に活動

Governance(ガバナンス)

- ・監査等委員会設置会社への移行
- ・指名委員会、報酬委員会の設置
- ・社外取締役増員(2名→3名)
- ・内部監査体制強化
- ・コンプライアンス委員会の設置と社内教育の実地
- ・リスクアセスメントの実施
- ・公益通報者保護制度
- ・反社会的勢力排除規程の整備及び取引先等の定期的なチェック

【環境・社会的課題と必要となる技術・機器】

分類	課題		対応策	必要な技術・機器
E 環境	人口増加 化石燃料利用 CO2増加	温暖化 大気汚染	低炭素社会の実現	電動化、ロボット化
			電動化、水素利用 (FCV)	モーター駆動 バッテリー
	化石燃料枯渇		水素 再生可能エネルギー	水素製造 太陽光パネル
S 社会	少子高齢化	医療・介護	遠隔医療ロボット 補助ロボット	ロボット VR
		先進国労働力不足	省人化～ロボット化 自動化	FA機器 ロボット
	都市部へ 人口集中	地方過疎化 医療機関減少 食料不足	遠隔医療 自動運転 ロボット(農業)	自動運転 FA機器 ロボット(農業)
	車による 死亡事故		衝突防止 自動運転	ADAS 自動運転

→イリソが取り組む領域

自動運転・ADAS、電動化、ロボット化、FA機器

「自動運転・ADAS、電動化、ロボット化、FA機器」の各領域に対して、3つのソリューションを提供して貢献していきます

【イリソのコネクタが提供できるソリューション・価値創造例】

イリソの3つのソリューション	実現するイリソのコネクタ	機器メーカー(顧客)への価値創造例	E・Sへの価値創造例
ロボットによる 自動組立対応	<ul style="list-style-type: none"> ・可動BtoBコネクタ ・Auto I-Lock ・2点接点コネクタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動化による生産性向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー効率の向上 ・資源の有効活用 ・労働力不足対応 ・信頼性向上
ワイヤーレス、溶接レス、半田付レスによる 組立安定性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・可動BtoBコネクタ ・FPCコネクタ ・インターフェイスコネクタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の小型化、軽量化 ・部品点数、組立工数削減によるTCO削減 	
接触信頼性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・可動BtoBコネクタ ・Z-Move[®] ・Auto I-Lock ・2点接点コネクタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・半田クラック対策 ・共振対策 ・作業ミス対策 ・異物対策 	